

期待を上回る好業績見通しを示した米企業決算

最高値更新ながら予想EPSの急伸により米国株に割高感はない

2026年8月14日

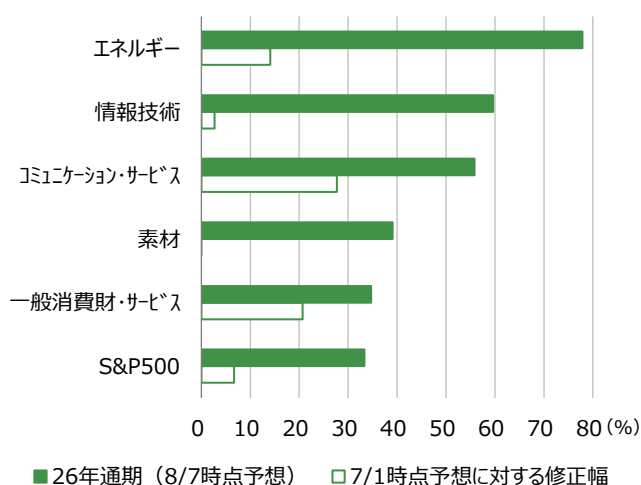
AI投資の恩恵を受けたハイテク株をけん引役に、米企業は大幅増益

S&P500が連日史上最高値を更新していますが、その背景の一つが好調な企業決算です。米企業の2026年Q2（4-6、5-7、6-8月期）の決算発表は、エヌビディア（8月26日予定）等を除き、おおむね一巡。8月7日までにS&P500構成銘柄の87%が発表を終えました。増益率はQ2実績（未発表企業は予想）が+51%、26年通期予想が+33%と、決算シーズン開始前の7/1時点予想（24%及び27%）から上振れしています。26年通期の予想増益率をセクター別で見ると、エネルギー+78%（7/1時点予想+64%）、情報技術（含む半導体）+60%（同+57%）、コミュニケーション・サービス+56%（同+28%）、一般消費財・サービス+35%（同+14%）が事前予想を切り上げて大幅増益となりました。コミュニケーション・サービスでアルファベット、一般消費財・サービスではアマゾンが、巨額株式評価益を計上している点を考慮する必要がありますが、米企業業績はAI投資とエネルギー価格上昇の寄与により、期待以上の業績見通しを示したといえます。

S&P500が最高値圏で推移している一方、12カ月先予想PERは低下傾向が続いており、足元（8月7日時点）では19.9倍と、過去10年間平均に近い水準まで切り下がってます。予想EPSが急伸していることで、PER面での割高感が緩和された状況となっています。今後も、好調な企業業績に後押しされ、米国株は上昇基調が続くと考えられます。

（執筆：調査部 高橋卓也）

図表1 26年通期S&P500セクター別予想増益率



※予想はLSEGによる8/7時点のボトムアップ集計値
（出所）LSEGより大和アセット作成

図表2 S&P500の12カ月先予想EPSと同PER



※直近値は26年8月7日（週次）。予想はLSEG
（出所）LSEGより大和アセット作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目録見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management